

9. -ので、-て

-기때문에

語幹に付いて、理由を表す。叙述文と疑問文に使う。

-아/어/여서

①語幹に付いて、後続動作や状況の理由や原因を表す。「-(으)십시오」、「-(으)십시오」、「-(으)니까요」の文では使われない。また時制を表す「았」、「겠」とは共に使われない。語幹末の母音が「ㅏ,ㅑ」であれば「-아서」が付き、それ以外の母音であれば「-어서」が付き。「-하다」は「-여서」が付き「-해서」の形で使われる。

②動詞の語幹に付いて、先行節の動作が完了してから後続節の動作が起こるという時間的前後関係を表す。なおこの時、先行節と後続節の動作はお互い相関関係にある。理由を表す①とは異なり、文の制約を受けない。語幹末の母音が「ㅏ,ㅑ」であれば「-아서」が付き、それ以外の母音であれば「-어서」が付き。「-하다」は「-여서」が付き「-해서」の形で使われる。

会話のヒント

- ☆理由を表す表現はたくさんあるのでその使い方を練習で身に付けよう!
- ☆語幹末の母音に注意して「-아/어/여서」を正確に使おう!
- ☆「-아/어/여서」の①と②の使い方をしっかりと理解して使おう!

- 1 一番好きな食べ物と嫌いな食べ物、その理由も説明してください!
- 2 長い休みができたなら何をしたいか説明してください!

♀ キーワード

- 왜냐하면:なぜなら / ● 식감:食感 / ● 해산물:魚介類 / ● 채소:野菜 / ● 휴가:バカンス /
- 여행가다:旅立つ / ● 스트레스해소:ストレス解消 / ● 쉬다:休む